

河川氾濫に関係の深い気象要素と気象予測の精度

○大規模な河川氾濫

- ・ 台風による降雨が影響することが多い
- ・ 河川の上流域に降った雨の量
(時間的・空間点分布) が影響する

↓

雨量の予測

①数日前からの予測

- ・ 台風や発達した低気圧のような、規模の大きい現象については、数日前から予測可能となってきた。
- ・ 都道府県程度の広さの範囲での最大雨量については、数日前からある程度の幅を持った値で提供できるようになってきている。

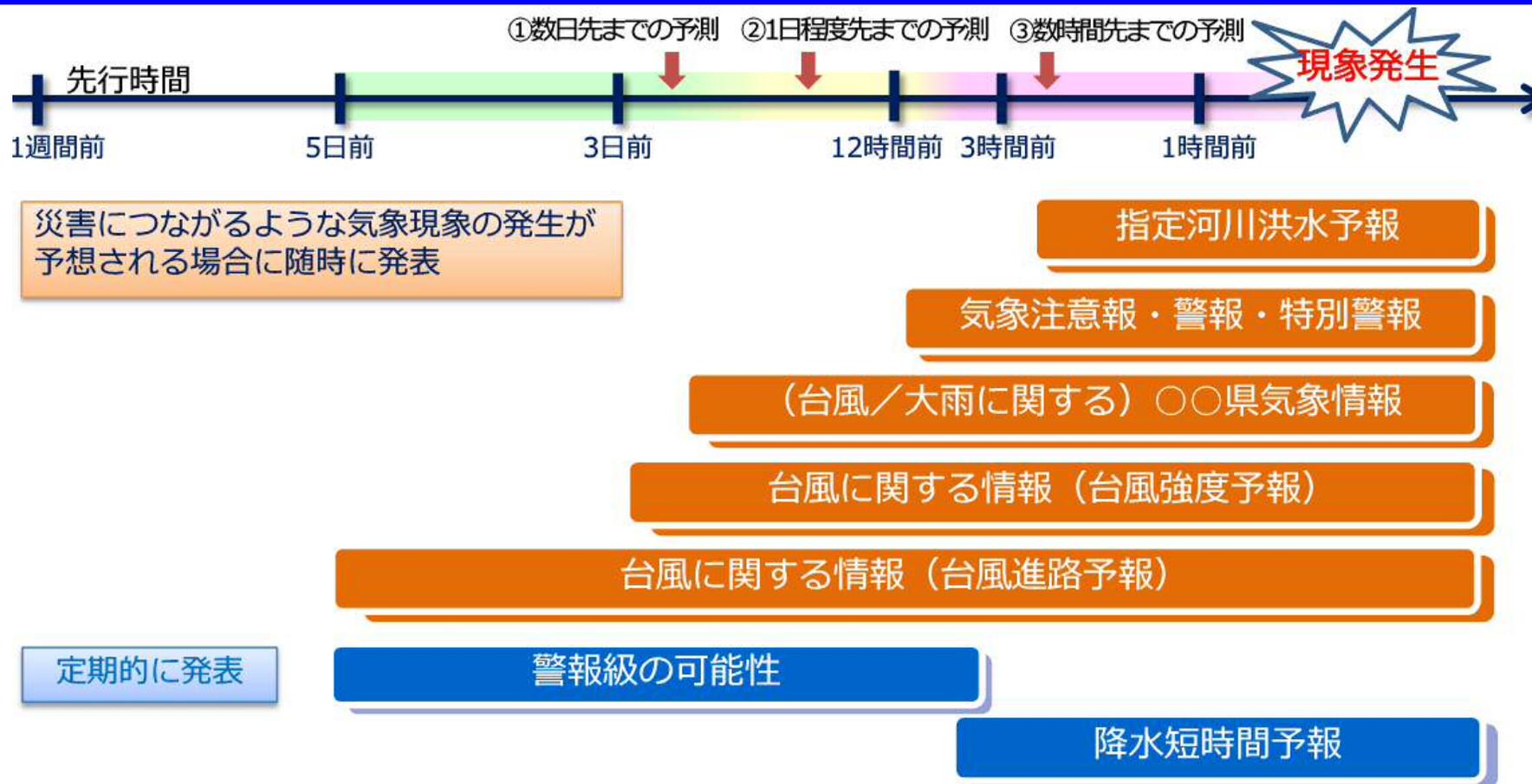
②一日程度の期間の予測

- ・ 都道府県や都道府県をいくつかに分割した地域程度の範囲内での最大雨量について、予測値を提供している。しかし、強い雨域の位置がずれるなど、精度には限界。

③数時間の予測

- ・ 1～6時間先まで、1km四方の1時間雨量予測値を提供しているが、2～3時間以上先の予測値の精度は、空間的に5km程度、量的に半分から2倍程度となる。

気象庁が段階的に発表する防災気象情報 (大雨・洪水関連)



気象庁では先行時間の異なる防災気象情報を段階的に発表している

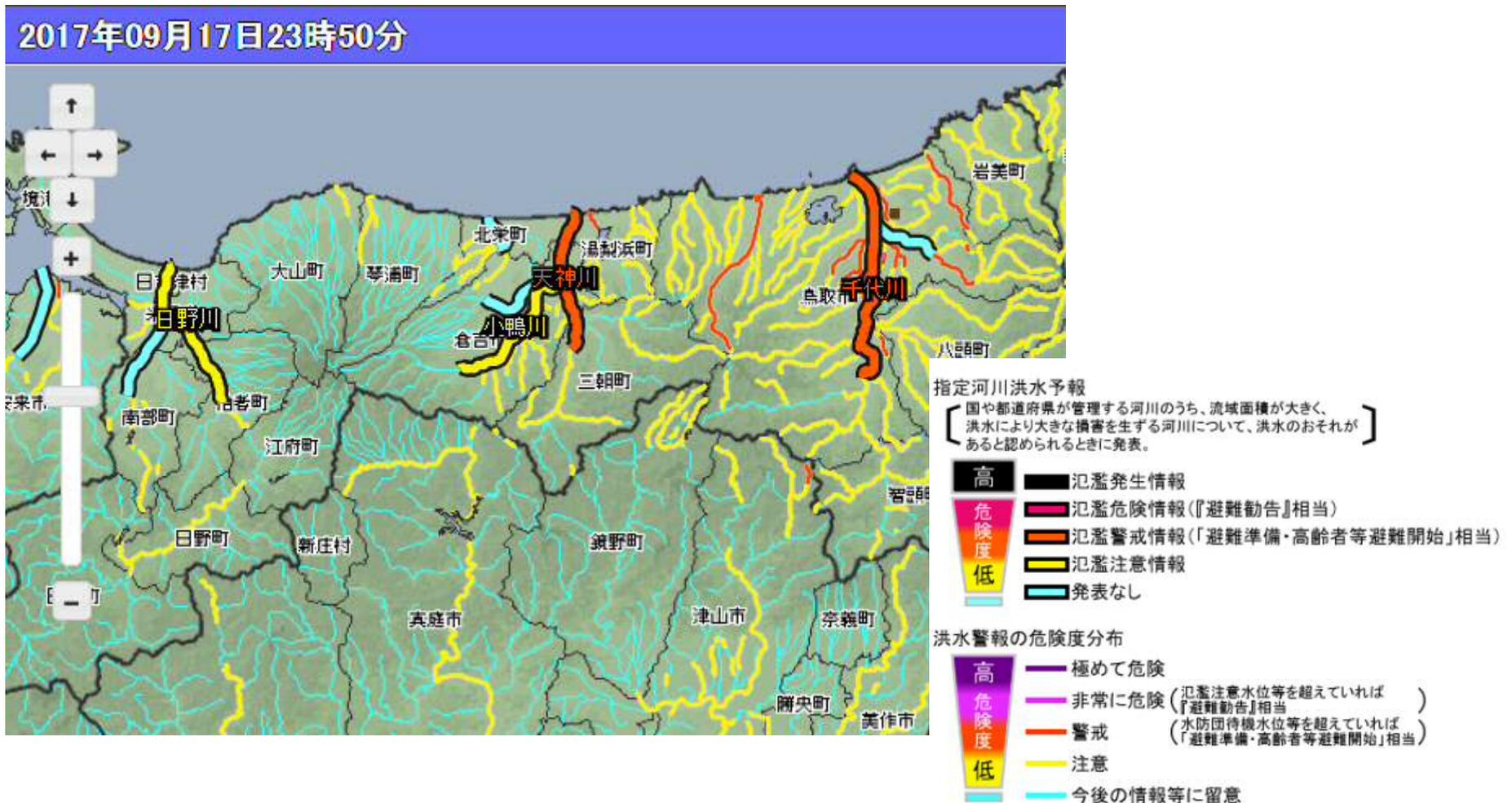
先行時間が短くなるほど

- ⇒ 対象地域や期間、現象の強さ (雨量など) は正確になる
- ⇒ 状況が切迫し、避難等の安全確保行動の選択肢は狭まる

洪水警報の危険度分布

【3時間先までの降水予想による危険度を表示しています】

現時点で水位等、目に見える危険度が現れていなくても、
今後の危険度の高まりを10分毎に表示します。



洪水警報の危険度分布の実例



3時間先までに重大な洪水災害となる**可能性がある**ことを示す**赤色**が出現しています。



薄い紫色が出現しており、引き続き水位が上昇して3時間先までに重大な洪水災害となる**可能性が高い**状況です。

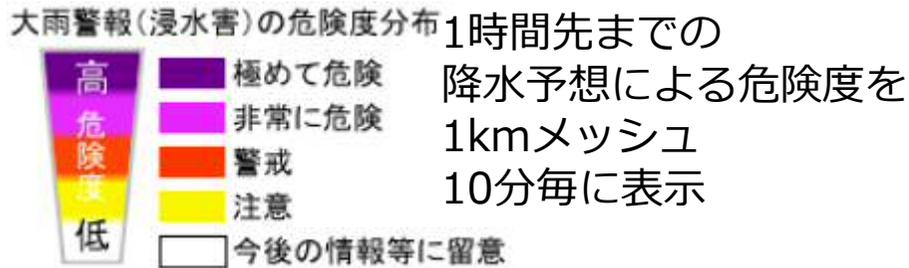
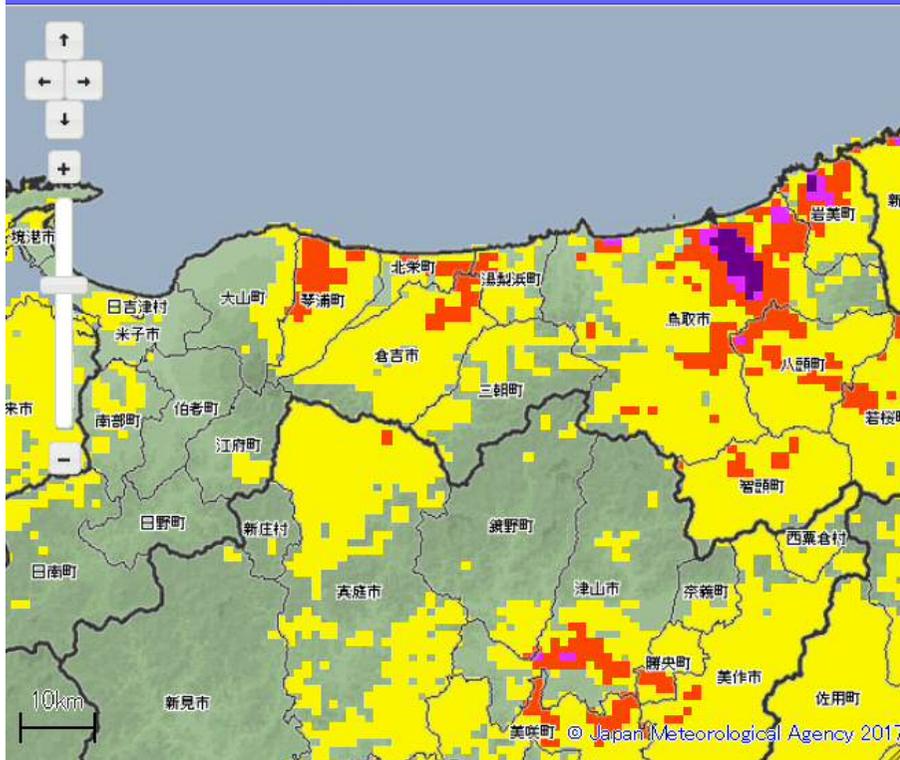


重大な災害が**すでに発生している**可能性が高い**濃い紫色**が出現しています。

その他のメッシュ情報

大雨警報(浸水害)の危険度分布

2017年09月17日21時20分



土砂災害警戒判定メッシュ情報

2017年09月17日21時20分

